



# 効果は ハッキリ



# 敬老乗車証 やっぱり市民の

# 宝

京都市が、敬老乗車証を「乗るたびに負担する制度」に変える「考え方」を示してから6年。粘り強い市民の運動で、改悪を許さず現行の制度を守っています。

この間、繰り返し、京都市として敬老乗車証の効果を検証するように求めてきましたが、市長は「手法が確立していない」と拒否してきました。

「敬老乗車証を守ろう！連絡会」と日本共産党京都市議員団は、昨年10月、名古屋市が行なった調査を参考に、効果を調べるためのアンケート調査をおこないました。

70才以上の方に聞きました  
(回答 1124人)

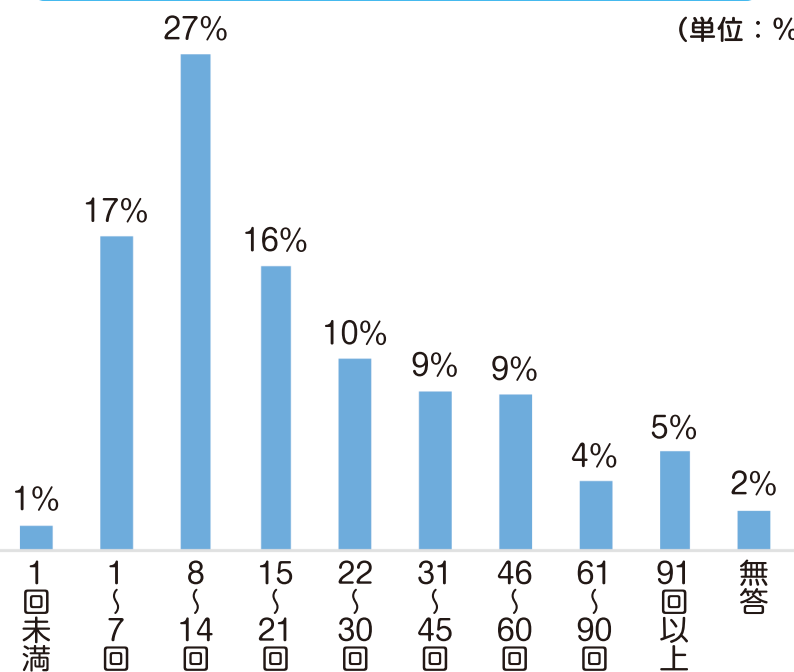
## 集計結果 [2019年12月1日現在]

(回答 1124人のうち敬老乗車証を受けている方982人を対象)



### 敬老乗車証の利用回数(月換算) 片道利用を1回として

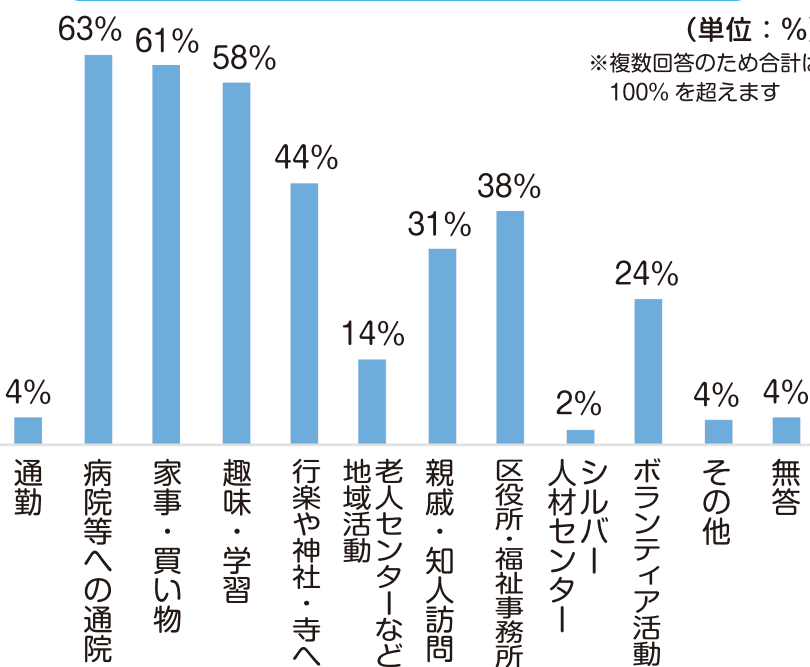
(単位：%)



### 敬老乗車証がなかったら 困ること(複数回答)

(単位：%)

※複数回答のため合計は100%を超えます



## アンケートで明らかになった 敬老乗車証の「効果」

### 社会参加

敬老乗車証で外出が増える!

敬老乗車証があることで増えた  
外出回数

→ **47.9%**

敬老乗車証がなければ出かけて  
いない人

→ **18.0%**

### 健康効果

外出で健康に!

敬老乗車証を使って外出1回

→ **1,300歩**

最寄りのバス停・地下鉄駅までの  
平均徒歩時間 7.6分から算出

「健康日本21」の目標歩数増(+1,300歩)と同じ  
さらに目的地での歩数も加算される

### 経済効果

外出先でお買い物や食事など

直接効果は **507億円**

敬老乗車証を使った外出1回あたり  
の平均消費額  
3,265円から算出

